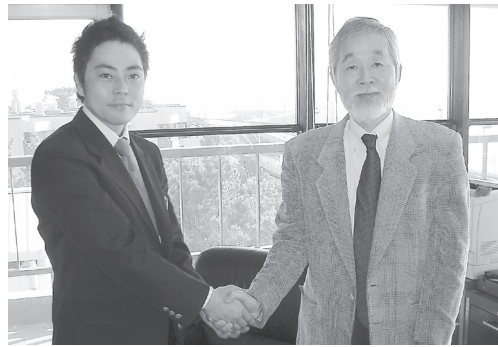




# 青年海外協力隊を派遣

町内在住の鷲野浩之(わしのひろゆき)さんが、JICA(独立行政法人国際協力機構)の青年海外協力隊として派遣されることになり、昨年12月15日(木)に町長を表敬訪問されました。

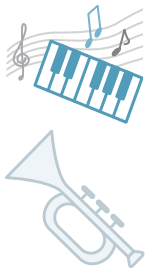
鷲野さんは、今年1月から2年間南アフリカのザンビアに派遣されます。派遣期間中は、これまでの経験を生かし、現地のファティマ女子高校でパソコン知識や操作等の教育を行うほか、現地教員の情報技術向上のための指導も行う予定です。健康に留意され、ご活躍されることを祈念いたします。



▲中崎町長を表敬訪問する鷲野さん(左)

# 子どもたちの教育のために寄附

大磯に本社をもつ有限会社プラス・パーク(代表取締役 栗原敏丈さん)から、町の子どものための教育のために役立てていただきたいと、50万円の寄附をいただきました。中学校で使用する楽器を購入し、感謝状を贈呈させていただきました。



▲感謝状を贈呈する依田教育長と(右)プラス・パークの栗原さん

◎問い合わせ  
☎内線3228

子ども育成課

◎問い合わせ  
☎内線211

総務課



今日からはじめよう！

# ごみのダイエツト通信 ⑪

前々回の⑨では、「リデュース(減量)」について考えました。

今回は「5R」の2つ目、「リユース(再使用)」がテーマです。

## ○リユースとは？

リユースとは、「再使用」という意味です。一度使い終えたものを「もう一度使いたましよう！」ということです。

## ○リユースしよう！

具体的には、こんな方法でリ

ユースを実践できます。

## ① 詰替え用品を利用

最近では、洗濯洗剤やシャンプーなど、詰替え用品が多く売られています。毎回容器を買うよりも経済的で、使い回すことで、リユースになります。

## ② マイ箸・マイカップの利用

自分の箸やコップを持って歩き、割り箸や紙コップを使わないようにすることがリユースと

なります。また、割り箸や紙コップを使うことで、ごみの減量

(リデュース)にもつながります。

この他に、ティッシュペーパーをできるだけ使わないようにしてぞうきんやフキンを使うことも、立派なリユースです。

リユースは、「一度使った容器などを洗うか、そのまま使う」ことです。気軽にできる「ごみのダイエツト」です。これらのごことを意識して生活してみたいかがですか？

## ◎問い合わせ

環境美化センター  
☎(72)4438

# 集積場所はルールを守って

町内には、約750か所のごみ集積場所があります。

この集積場所は、地域の皆さんのご理解とご協力により、当番制で掃除をするなどして清潔に保たれています。

## ごみ出しはルールを守って

集積場所にごみを出す時は、分別を行ったうえで、町が発行する「ごみの分け方・出し方」に基づき、収集日当日の朝8時30分までに出すようにしてください。

また、集積場所によっては、カラス対策として、カラスよけネットなどを使っているとあります。この場合、しっかりとネットがごみに覆いかぶさるよう気をつけてください。

カラスなどがごみを散らかし集積場所周辺の方が困っています。カラス対策として皆さんの行っている対策等があれば教えてください。



▲カラスなどにより散らかった集積場所周辺

◎問い合わせ  
環境美化センター  
☎(72)4438